

令和4年度

学生によるオレンジリボン運動

大正大学 実施報告書



実施主体 大正大学オレンジリボン運動推進隊

実施内容 オリジナルボイスドラマの制作、配信、「学びのコミュニティ講座」の実施、オリジナルポスター・パンフレット・リボンの作成送付、高校生向けのプレゼンテーション・交流活動、SNSでの情報発信

①事前に取り組んだ内容

- ・社会福祉入門の授業では、児童虐待の定義や実態を学び、児童虐待の深刻さを知り、オレンジリボン運動の意義を認識することができました。
- ・基礎ゼミナールの授業では、先輩たちのオレンジリボン運動の活動を見聞きし、「児童虐待を防止するためにどのような啓発活動を行うことができるか」についてグループワークを行い、学生同士で意見交換をしました。
- ・児童福祉論の授業において、子ども家庭福祉にかかわる法制度や支援施策などについて学び、ゲスト講師である全国児童養護施設協議会大場副会長、杉並学園麻生施設長の話から虐待問題について理解を深めました。
- ・「学生によるオレンジリボン運動 オンライン報告会」を視聴しました。
- ・ソーシャルワーク演習Ⅲの授業では、学生たちが児童虐待を防止する方法を考え、各クラスでオリジナルポスター・パンフレット・動画作成、リボン制作、プレゼンテーションなどを行いました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

1. オリジナルボイスドラマの制作、配信
2. 高校生に向けたオレンジリボン運動のプレゼンテーション企画、実施
3. 「学びのコミュニティ講座」の実施
4. 図書館に児童虐待に関する書籍コーナーの設置、書籍紹介のポップ作り、児童虐待事件をまとめたポスター作成
5. 1年生にオレンジリボン運動の講義の実施
6. Twitter、Instagramに学生の活動風景や啓発ポスターなど投稿
7. 学科ブログに学生のオレンジリボン運動の活動内容の掲載
8. 作成したポスターやパンフレットを学生の母校や、区民ひろば、放課後児童クラブなどに送付、掲示
9. オリジナル啓発ポスター、パンフレット作成、掲示
10. オレンジリボンの制作

③オレンジリボン運動を終えて・・・

・今回、児童虐待防止啓発の動画を作成しました。オリジナルボイスドラマは虐待環境におかれている子どもを想定し、作りました。大正大学の公式 YouTube にアップしていますので、多くの方に視聴して欲しいです。

<https://www.youtube.com/watch?v=xV-pTv7-0u>

・今回の高校でのオレンジリボン推進活動は、「児童虐待の認知度が上がってきている今、高校生達が児童虐待を目の当たりにしたときの手立てを知ってもらいたい」という目標を持って行きました。今回の交流を通して、少しでも目標に近づけていたら嬉しい限りです。

・大学図書館の「学びのコミュニティ講座」で私たちの活動を報告しました。オレンジリボン運動の意義、児童虐待の実態などについてもお話しをしました。私たちの報告を聞きに来てくださった方々との交流もできてすごく嬉しかったです。

・全国児童養護施設協議会副会長大場先生に「虐待について考えてみるとー日常生活のかかわりの中でー」というタイトルで、講義をいただきました。「虐待の発見は見ているだけでは、見つけることができない」という言葉が特に印象に残っております。今回のお話で私たちは児童虐待をなくしていくうえで「気付き」が大切だと学びました。虐待は家庭や施設など様々なところで起こっています。虐待に気付いた方は児童虐待相談対応ダイヤルの189に連絡しましょう。私たちと一緒に「気付き」を大切に子どもたちの安心、安全を守っていきましょう。

・オリジナルボイスドラマの制作配信

2022年度
大正大学社会福祉学科
オレンジリボン運動

大正大学社会福祉学科オレンジリボン運動推進隊

大正大学社会福祉学科
マスクコトキヤクサー
「がくまる」



・都内の高校生との交流



・「学びのコミュニティ講座」の実施



・図書館展示



・キャンパス内掲示



【学校名】 <https://www.tais.ac.jp/>